

令和7年度 第7回
都賀地域会議会議録

令和7年11月25日(水)
栃木市都賀総合支所2階 大会議室

都賀地域まちづくりセンター

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和7年度第7回 都賀地域会議
開催日時	令和7年11月25日(水) 午後7時00分～午後7時32分
開催場所	都賀総合支所2階 大会議室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長 事務局 会長	<p>1 開会 事務局より開会を宣言。</p> <p>2 あいさつ 辻原会長より挨拶。 本日の出席人数について事務局に報告を求める。 都賀地域会議委員総数14名中13名出席と報告。 地域づくり推進条例第9条第2項の要件を満たすため、本会議の成立を宣言する。</p>
会長 事務局	<p>3 議事 議事① 地域予算提案制度の検討について 〈説明〉 事務局に説明を求める。 前回提出いただいた令和9年度実施分地域予算提案事業アンケートについて集計したので、その結果を踏まえ各部会で話し合いをしていただく。まずは、金額や規模の大きさなど考えずに自由に検討してください。注意点として、改修事業を検討する場合は、その効果を高めるためソフト事業も併せてお願いしたい。</p>
会長 A委員	<p>〈質問・意見〉 委員に質問・意見を求める。 水害時のポンプについて、停電時は電気が使えないので発電機が有効かと思われる。これを提案した際に、発電機購入は保険みたいなものであり、ソ</p>

事務局	フト事業に絡めることは出来ない。そういったものはどうするのか。
B委員	必ずしもソフト事業が必要なわけではないので、所管課で有効性が検討できれば、提案事業として提出できると思われる。また、提案した内容では難しいが、別のこういった代替案ではどうかといった調整をすることもある。
会長	ハード事業を提案した際に、ソフト事業を検討しなければならないなら、今まではハード面である総務・産業・建設部会と、ソフト面である民生・教育部会に分かれていたが、ハード事業に併せたソフト事業の擦り合わせが必要になってくる。それぞれの部会で事業が完結せずに、お互いでよく意見交換をすることが重要かと思われる。
委員一同	部会が出た意見を報告し合って擦り合わせたい。 そのほか、委員に質問・意見を求める。
	質問・意見等なし。
	4 その他
	(1) 令和7年度栃木市地域自治交流会の開催について
事務局	事務局より説明。委員から参加者を決めてもらいたい。
委員一同	〈説明〉 検討の結果、大山委員が参加することとなった。
	(2) 会議録の確認について
事務局	事務局より説明。委員に意見を求める。
委員一同	〈質問・意見〉 質問・意見等なし。
事務局	意見等なしのため、会議録について了承とする。
	(3) 令和7年度第8回都賀地域会議の開催について
事務局	〈説明〉 次回の開催について説明。令和8年1月27日(火)午後7時00分～都賀総合支所2階 大会議室。委員に意見を求める。
委員一同	〈質問・意見〉 質問・意見等なし。
事務局	意見等なしのため、開催について了承とする。
委員一同	その他、委員から報告等求める。 報告・意見等なし。
	5 閉会
事務局	以上で本日の会議は終了とする。

別紙1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会 長	辻原	正信
副会長	山本	文彦
委 員	大森	明美
委 員	茅島	淳二
委 員	篠原	義雄
委 員	郡司	敦
委 員	直井	茂
委 員	大橋	智
委 員	相田	美由紀
委 員	狐塚	和義
委 員	青木	民夫
委 員	大山	和昭
委 員	田島	富美子

欠席者（委員）

なし

事務局

島田	和行	（都賀地域まちづくりセンター所長）
岡部	学	（都賀地域まちづくりセンター課長補佐兼係長）
大竹	英喜	（都賀地域まちづくりセンター主査）

その他の出席者

なし

別紙2 会議事項

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 地域予算提案制度の検討について

4 その他

(1) 令和7年度栃木市地域自治交流会の開催について

(2) 会議録の確認について

(3) 令和7年度第8回都賀地域会議の開催について

5 閉 会

配布資料一覧

令和7年度第7回都賀地域会議次第

令和9年度実施分地域予算提案事業アンケート集計表